

医局だより



第 387 回東京産科婦人科学会例会

こんにちは。

10月になりました。少し肌寒くなり、秋を感じる今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか？私たちの医局・病棟では、風邪が流行り始めております。世間では風疹が流行っているようであり、そろそろインフルエンザも猛威を振るいはじめる時期ではありますが、ここの辺りは流行りに乗らないよう、十分気をつけましょう！

9月29日、私たち東京医科歯科大学が担当させていただきました、東京産科婦人科学会例会がJA 共済ビルで行われました。

医局からは三浦先生が「静脈内伸展をきたした子宮体部癌肉腫の1例」、牛木先生が「当院におけるクローン病合併妊娠の周産期管理について」の演題で発表いたしました。特別講演は「当院における医療安全への試み」として、座長を宮坂教授、演者を尾林聡先生が務めました。他にも、座長や司会などを医局員みんなで分担し、円滑に運営でき、有意義な学会にすることができました！取りまとめ役は中筋先生が行いました。お疲れ様でした！

今回の医局だよりでは、そんな私たちの勇姿を写真でご紹介したいと思えます。まずは、初めての発表を経験したレジデントの二人からです。

三浦先生、優秀演題賞を惜しくも逃してしまいましたが、落ち着いて立派に発表していました！寺内先生からの質問へしっかり答えております！



牛木先生、準備がもはや伝説になりそうですが、睡眠時間を削りまくって頑張りました！そんな寝不足は微塵も感じさせない、凜とした発表でした！



同じくレジデントの長谷川先生、今回発表はありませんでしたが、質問して学会を盛り上げてくれました！



特別講演を行った尾林先生です。講演終わりの写真になってしまいましたが、オーディエンスの頭の隙間から写真を撮る…そのくらい参加者がとにかく多く、大盛況の特別講演でした！



宮坂教授は学会の担当代表として、初めの挨拶や特別講演座長、表彰式を行いました。この日は、午前中は運動会に参加していたようです。忙しいです、どこからも引っ張りだこです。お疲れさまでした！



最後に力を合わせた医局員の集合写真です。みなさん頑張りました！！
ちょっとスルーできないんですが教授がヤンキーみたいです…



ラストの写真は打ち上げ、あえて言及するなら2次会です。とっても楽しそうですね…実際、楽しかったですね！他にも写真をたくさん撮りましたが、載せられる写真が限られております！

仕事を終えた後の充実したみなさんの表情を、どうぞご覧ください！



最近、月1回のペースで真面目に更新しております。このペースを維持して医局の現状をお伝えするので、是非また遊びにきてください！

2018年10月18日

文責：廣瀬 明日香